

# 令和4年度藤里町社会福祉協議会事業報告

## 【 法人運営部門 】

○法人運営部門は、適切な法人運営や事業経営を行うとともに、総合的な企画や各部門間の調整等、社協事業全体のマネジメント業務を行いました。

### 1) 法人運営

#### ◎理事会の開催

- ① 令和4年6月2日（木）（理事出席8名 監事出席2名）

議案 欠員による副会長の選定について

令和3年度藤里町社会福祉協議会事業報告（案）について

令和3年度藤里町社会福祉協議会収支決算報告（案）について

令和3年度藤里町社会福祉協議会監査報告について

令和4年度藤里町社会福祉協議会定時評議員会の招集について

評議員選任・解任委員会委員の選任について

- ② 令和4年7月6日（水）（理事出席7名 欠席1名 監事出席2名）

議案 令和4年度（第46回）藤里町社会福祉大会における被表彰者について

- ③ 令和4年9月30日（金）（書面決議）

議案 就業規則の改定（案）について

- ④ 令和4年12月20日（火）（理事出席6名 欠席2名 監事出席1名 欠席1名）

議案 令和4年度歳末たすけあい運動配分（案）について

- ⑤ 令和5年3月17日（金）（理事出席7名 監事出席2名）

議案 就業規則の改定（案）について

令和4年度藤里町社会福祉協議会補正予算（案）について

令和5年度藤里町社会福祉協議会事業計画（案）について

令和5年度藤里町社会福祉協議会収支予算（案）について

役員等賠償責任保険契約の締結について

令和4年度藤里町社会福祉協議会評議員会の招集について

#### ◎評議員会の開催

- ① 定時評議員会

令和4年6月16日（木）（出席18名・欠席2名・監事出席1名）

議案 令和3年度藤里町社会福祉協議会事業報告（案）について

令和3年度藤里町社会福祉協議会収支決算報告（案）について

令和3年度藤里町社会福祉協議会監査報告について

- ② 令和5年3月23日（木）（出席18名・欠席2名）

議案 令和4年度藤里町社会福祉協議会補正予算（案）について

令和5年度藤里町社会福祉協議会事業計画（案）について

令和5年度藤里町社会福祉協議会収支予算（案）について

◎監事会の開催

令和4年5月27日（金）（出席2名）

令和3年度藤里町社会福祉協議会業務について

令和3年度藤里町社会福祉協議会収支会計について

◎役員研修の実施

日時 令和4年10月27日（木）

場所 あきた芸術劇場「ミルハス」大ホール

出席 6名（理事4名 社協2名）

内容 令和4年度秋田県社会福祉大会参加

記念講演「持続可能な地域共生社会の実現に向けて」

～地域と歩んで70年、これからの地域福祉活動を考える～

講師 慶應義塾大学経済学部教授 駒村康平氏

2) 財務運営・管理

◎適正な担当者の配置

◎外部監査等の実施

北林会計事務所 月1回 他4回（決算・消費税・年末調整・インボイス講習会等）

3) 自主財源確保に向けた体制づくり

◎社協会員加入促進

令和4年度 加入状況 ※前年度実績（ ）

・一般会員 993世帯

・特別会員 54世帯

・団体会員 1団体

※特別会員に県外の方1名含む

84.8%（83.7%）

4) リスク管理・コンプライアンス管理体制の整備

◎第三者委員会議の開催

日時 令和5年3月30日（木）13:30～14:45

場所 総合福祉センター 相談室

出席 5名（第三者委員2名 社協3名）

内容 藤里町社会福祉協議会の事業について

令和5年度事業計画・事業体制等について

◎介護保険事業所内研修の実施

各事業所別研修計画に基づく研修及び全事業所による経営安定化会議を行いました。

5) 計画的な採用・異動・人事考課等の人事管理

◎適切な人事管理

介護保険事業等の安定的な経営と職員のキャリアアップを目指し、計画的な採用・異動等を実施しました。 職員採用 1名

6) 研修・能力開発等の計画的な人材育成

◎職員の資格取得研修助成

資格取得者 4名 (社会福祉士1名、介護福祉士3名)

介護実務者研修(通信)受講助成 1名

7) 労働法制に基づいた労務管理

◎就業規則の改定等の実施

◎社会保険労務士への委託

8) 所轄庁への届出や対外的な法的対応を行う法務に関する業務

9) 将来ビジョンの検討と進行管理

◎役員研修の充実

◎地域の福祉ニーズの把握 報告・連絡・相談用紙の活用

◎福祉事業の効果・評価 報告・連絡・相談用紙の活用

◎「社協発展・強化計画」策定の是非の検討

10) 法人としての災害時対応とBCP(事業継続計画)の策定・推進

◎BCP計画(自然災害・感染症等)作成、周知、見直しを行いました。

- ・令和4年 4月～令和5年3月 新型コロナウイルス感染症拡大対策検証
  - 5月 グループホーム美里園 ゾーン分け検証
  - 8月 くまげら館、生活支援ハウスぶなっち ゾーン分け、食事支援検証
  - 12月 グループホーム美里園 食事支援の検証
- ・令和4年7月 全職員アンケート実施 地図上で職員の居住地の分布を確認
- ・令和4年8月 土砂災害警報発令 避難・宿泊からの検証・マニュアル見直し
  - 8月3日 土砂災害警報発令 生活支援ハウスぶなっち入居者避難
  - 8月9日 土砂災害警報発令 生活支援ハウスぶなっち入居者避難  
藤里町総合開発センターへ8名1泊

1 1) 広報活動・広報戦略等

◎広報「社協だより」の発行 6回発行 (No.203～No.208)

◎第46回藤里町社会福祉大会の開催

日 時 令和4年7月29日(金) 14:00～16:00

会 場 藤里町総合開発センター 2階大ホール

新型コロナウイルス感染症感染予防のため、開発センター内に3会場を設けて、オンラインで開催しました。

参加者 151名

内 容 表彰 体験発表

講演「クリニック漫談 笑うと健康長寿になるってホントですか？」

講師 南々亭骨太氏(“一診一笑”のすずきクリニック 鈴木裕之院長)

◎こみっと感謝祭の開催

日 時 令和4年10月8日(土) 10:00～12:00

会 場 福祉の拠点「こみっと」

内 容 体験型こみっと感謝祭(☆12の体験メニュー)

新型コロナウイルス感染症拡大のため中止しました。

◎福祉座談会の開催 新型コロナウイルス感染症拡大のため中止しました。

◎福祉教育校の指定・推進(共同募金委員会と連携)

藤里小学校、藤里中学校を福祉協力校として指定し次世代育成を行いました。

・藤里小学校

長引くコロナ禍により昨年に引き続き町の様々な行事や福祉施設への訪問など多くの活動が中止となってしまったが、「畑サポーター」の協力のもと畑の苗植えを行うことができ、それに通ずる活動を行うことができた。

主な活動

地域住民や祖父母による「畑サポーター」の活動

全校生徒で学校花壇への花苗の植え付け、農作物の収穫、ベルマーク収集

12, 1月 書き損じはがき収集

1, 2年生 幼稚園児とサツマイモの苗の植え付け、収穫作業

幼稚園児との交流クリスマス会

3年生 市日で、サツマイモの販売 味噌作り体験

5年生 田植え・稲刈り体験、

福祉の拠点こみっとでの接客体験※新型コロナウイルス感染症拡大のため中止

6年生 羊毛工作体験

・藤里中学校

今年度も引き続き地区での清掃ボランティア、雪かきボランティア、ペットボトルキャップ集め等様々な活動を行った。活動の振り返りを見ても実際の地域での奉仕活動を通して生徒が得たものは大きい。特に自分たちでできることを行い「町の人のためになろう」「町を支えよう」という思いが育ってきていると感じる。また、地域の人と交流するいい機会となっている。ボランティア活動の実施を後押しし、見守ってくれる自治体がほとんどであり、生徒への温かい声かけなどが次の活動への意欲につながっている。

主な活動

**JRC 登録式**

花壇整備作業、一人一鉢運動、花壇の花苗植え

緑の羽根募金（4,582 円を藤里町緑地化推進委員会へ納めた）

地区ボランティア（7月25日（月） 公民館や公共施設の清掃活動）

藤中祭（9月4日（日）開催 社協デイサービスにオンライン中継）

赤い羽根共同募金（3,594 円を藤里町共同募金委員会へ寄付）

雪かきボランティア（2月3日（金）公共施設等で実施）

ペットボトルキャップ集め 160kg 集め、3,344 円に換金。3,561 円を社協へ寄付

◎ホームページでの情報発信

藤里町社会福祉協議会事業、行事等の説明・紹介

藤里町社会福祉協議会の活動予定、活動報告

◎藤里体験プログラムの作成と発信

## 【 地域福祉活動推進部門 】

○地域福祉活動推進部門は、地域の組織・関係者の協働を促進し、地域福祉推進の中核的な役割を担いました。

### 1) 調査の実施や福祉座談会の開催、他部門との連携に基づく地域生活課題の把握

- ◎在宅障がい者等の状況調査 報告・連絡・相談用紙等の活用
- ◎安心安全体制整備事業に関する意識調査の継続 報告・連絡・相談用紙等の活用
- ◎福祉座談会の開催 新型コロナウイルス感染症拡大のため中止しました。

### 2) 藤里町地域福祉計画策定への参画、藤里町地域福祉活動計画の策定と検証

- ◎地域福祉計画及び地域福祉活動計画の評価・見直し 報告・連絡・相談用紙等の活用

### 3) 地域生活課題を踏まえた政策提言等のソーシャルアクションの実施

### 4) 小地域ネットワーク活動の推進・(活躍) 支援

### 5) 生活支援体制整備事業の実施

- ◎生活支援コーディネーター及び就労的活動支援コーディネーターの配置
- ◎地域包括支援センター・地域活動支援センター・トータルケア推進事業（CSW）等と連携し、一体的な生活支援体制を整備
- ◎まち自慢クラブ事業の実施 開催日時 火～金 10:00～14:00  
自称60歳以上の方が登録。町自慢の方々が、ときには生徒、ときには講師として、町の良い所を学び、体験し、語り合う「まち自慢講座」「山菜ランチ」「源泉かけ流し温泉」が自慢のまち自慢クラブを通年で開催しました。

登録者数	140名
実施回数	168回
延べ参加人数	585名
まち自慢講座回数	168回（64種類）
まち自慢講師数	30名
応援ボランティア数	109名（各地区婦人会、ボランティア団体へ依頼）
応援ボランティア活動回数	166回

内指定まち自慢クラブ（通所型A） 実人数10名 延利用回数213回

感染予防で、山菜バイキングは「お持ち帰り弁当（4月12日～6月13日）」、「山菜ランチ（6月14日～）」に変えて提供。また、新型コロナウイルス感染症拡大のため4月6日～8日（3日間）、8月8日～9日（2日）、11月1日～2日（2日間）、12月21日～23日（3日間）は中止。

大雨で避難指示発令のため、8月3日は中止。

## ◎家族介護支援事業（在宅介護者の集い事業）

介護者の方同士のリフレッシュや意見交換を目的に、藤里町ボランティア団体連絡協議会及び精神保健福祉ボランティア等の方々と、合同研修として実施しました。

・介護者リフレッシュ事業（コロナ禍の為宿泊事業に変え、日帰りで3回に分けて実施）

① 令和4年10月12日（水） 参加者 8名（内介護者3名 社協2名）

② 令和4年10月14日（金） 参加者20名（内介護者8名 社協2名）

③ 令和4年10月18日（火） 参加者18名（内介護者3名 社協2名）

場 所 男鹿市、大潟村

内 容 なまはげ館・男鹿真山伝承館、オガーレ、生態系公園温室見学

・介護者の集い事業（コロナ禍の為、2回に分けて実施）

① 令和5年 3月14日（火） 参加者18名（内介護者8名 社協7名）

② 令和5年 3月24日（金） 参加者13名（内介護者1名 社協7名）

場 所 農村環境改善センター

内 容 まち自慢クラブ体験 テーマ～認知症について学ぼう～

講 師 まち自慢クラブ講師（居宅介護支援事業所・包括支援センター）

## ◎みんなの縁側事業

コロナ禍で在宅介護者同士が自由に集まる機会として、感染対策を行える場に出向いて情報提供等を行いました。地域おこし協力隊が地域を回る屋外フードカーへの参加やまち自慢クラブで「がんばらない介護」をテーマに学び合いや交流を行いました。

令和4年 4月 新型コロナウイルス感染症拡大のため中止

令和4年 5月23日（月）金沢 フードカー 参加者 6名 職員4名

令和4年 6月22日（水）清水岱フードカー 参加者14名 職員4名

令和4年 7月13日（水）熊の岱フードカー 参加者 7名 職員4名特養1名

令和4年 8月 新型コロナウイルス感染症拡大のため中止

令和4年 9月30日（金）まち自慢クラブ×むつみ会 参加者14名 職員5名

令和4年10月18日（火）まち自慢クラブ 参加者 2名 職員5名

令和4年11月15日（火）まち自慢クラブ 参加者 3名 職員2名

令和4年12月20日（火）まち自慢クラブ 参加者 5名 職員5名

令和5年 1月17日（火）まち自慢クラブ 参加者 3名 職員4名

令和5年 2月21日（火）まち自慢クラブ 参加者 6名 職員5名

令和5年 3月14日（火）まち自慢クラブ×介護者の集い参加者11名職員7名

実施回数10回 延参加人数71名

## ◎成年後見制度利用支援事業

専門相談所の開設（毎月1回及び必要に応じて随時開設）

「保健・福祉・法律」の専門家による相談所を定期的に開催しました。地域住民の困りごとが深刻化しないように、専門家との相談の機会を町内で確保しました。

13件受付（保健関係0件 福祉関係1件 法律関係12件）

◎福祉用具・住宅改修支援事業

◎認知症サポーター等養成事業

認知症サポーターステップアップ研修 まち自慢クラブにて実施 10時～12時

- ① 令和4年11月11日（金） 参加者 5名 「コミュニケーションの仕方等」
- ② 令和4年12月20日（火） 参加者10名 「もしバナゲーム等」
- ③ 令和5年 1月18日（水） 参加者11名 「マスコットづくり等」
- ④ 令和5年 3月24日（金） 参加者13名 「認知症予防について等」

6) 安心・安全体制づくり重層的支援体制整備事業) 活躍支援プロジェクトと協働実施  
 ☆生活支援コーディネーター・就労的活動支援コーディネーターを配置し、地域包括支援センター機能・地域活動支援センター機能・トータルケア推進事業(CSW)機能・生活支援体制整備事業機能を活かし、一体的に運営することで、地域共生社会の実現を目指しました。

7) 活躍支援の拠点づくりプロジェクトの活性化 (安心・安全体制づくりと協働実施)

◎活躍支援の拠点づくりプロジェクト

・仕事づくりの拠点「農村環境改善センター」の受託運営 ※前年度実績 ( )

施設利用 延利用人数 83名(80名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
部屋	0名	0名	0名	0名	2名	20名	2名	0名	0名	0名	0名	0名	24名
宿泊	0名	4名	19名	4名	16名	0名	10名	4名	0名	2名	0名	0名	59名

入浴利用 延利用人数 5,823名(4,989名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
大人	406名	525名	491名	515名	406名	480名	591名	572名	469名	449名	400名	492名	5,796名
子供	0名	0名	3名	2名	5名	6名	5名	0名	2名	1名	1名	2名	27名

歴史民俗資料館 延利用人数 32名(34名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	5名	1名	3名	5名	2名	11名	4名	1名				



・白神まいたけキシユの製造販売 ※前年度実績（ ）

町特産のまいたけを使用して、白神まいたけキシユを製造・販売しました。

売上合計 1,694 個 (1,561 個) 2,849,176 円 (2,365,098 円)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
131 個	133 個	143 個	171 個	180 個	127 個
198,770 円	204,873 円	217,131 円	278,138 円	274,782 円	193,445 円
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
196 個	153 個	199 個	76 個	86 個	99 個
290,743 円	268,668 円	404,642 円	138,779 円	147,080 円	232,125 円

※個包装の販売分含む

・こみっとうどんの製造販売 ※前年度実績（ ）

讃岐生まれの白神育ち「こみっとうどん」を製造・販売しました。

売上合計 116,690 円 (230,464 円)

通常販売		111,340 円
卸	農村環境改善センター (山菜ランチ)	350 円
その他	教育委員会 (藤里中学校ふるさと学習) 他	5,000 円

・栗製品の製造販売 ※前年度実績（ ）

藤里産の栗を使用して「栗ブラウニー」及び「栗の渋皮煮」を製造・販売しました。

売上合計 501,889 円 (177,387 円)

栗ブラウニー	1,905 袋 (619 袋)	482,989 円 (143,787 円)
栗の渋皮煮	63 袋 (140 袋)	18,900 円 (33,600 円)

・FUJISATO グッドデリの製造販売 ※前年度実績（ ）

藤里の山菜と昔から伝わる食の知恵を活かして和のおかずを製造・販売しました。

売上合計 1,017 袋 (1,015 袋) 437,686 円 (641,685 円)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
26 袋	49 袋	35 袋	62 袋	70 袋	65 袋
13,095 円	24,570 円	18,900 円	37,795 円	38,500 円	32,565 円

10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
67 袋	117 袋	147 袋	185 袋	118 袋	76 袋
39,365 円	42,606 円	58,500 円	66,190 円	38,865 円	26,735 円

※数量に卸含まず

・畑の収穫物の販売 ※前年度実績（ ）

藤里産の「大豆」及び「小豆」を販売しました。

売上合計 27,500 円 (21,320 円)

大豆	26 袋 (20 袋)	10,700 円 (8,000 円)
小豆	45 袋 (42 袋)	16,800 円 (13,320 円)

・山菜ランチ ※前年度実績（ ）

来客延人数 1,415 名（1,434 名） 売上額計 944,950 円（1,012,450 円）

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
来客数	68 名	62 名	134 名	144 名	72 名	161 名
売上額	45,200 円	41,400 円	89,650 円	106,600 円	48,200 円	111,200 円

10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
162 名	131 名	100 名	105 名	129 名	147 名
110,300 円	83,200 円	61,200 円	70,200 円	85,700 円	92,100 円

・根っこビジネスの展開

根っこビジネスの促進、新商品の開発、山菜ランチ、お食事処こみっとの運営

⇒プラチナバンク等の活用、「食」を活かした交流

視察や取材、まち自慢クラブ等でプラチナバンク会員によるわらび餅実演を行い、根っこビジネスの宣伝とプラチナバンク活動の発信をしました。

・地域の団体、ボランティア等の活躍支援

・「こみっと」機能、「農村環境改善センター」機能を有効に活用し、効率的な運営を行いました。

◎研修センター開設（職業体験プログラムの充実）

介護福祉士実務者研修（通学・通信）の実施と社会福祉士・精神保健福祉士実習生の受け入れを行いながら、地域ニーズに合った研修プログラムを実施しました。

・心肺蘇生法について（AED 使用方法の研修）

演習用 AED 3 体で練習を行い、設置されている AED について使用方法の再確認を行いました。

① 令和 4 年 8 月 26 日（金） 14：00～15：00 15 名

② 令和 4 年 8 月 26 日（金） 15：00～16：00 15 名

会場 福祉の拠点こみっと 小会議室

・福祉用具専門相談員講習の実施

第 2 回 福祉用具専門相談員講習 受講希望者 1 名のため中止しました。

・介護福祉士実務者研修の実施

第 5 回 介護福祉士実務者研修（通学 5 月 12 日～10 月 28 日）

修了者 3 名就職率 100%

第 10 回 介護職員初任者研修（通学 10 月 25 日～12 月 22 日）

修了者 7 名就職率 85.7%

※秋田県委託訓練（離職者等再就職訓練知識等修得コース）として実施

第 5回 介護福祉士実務者研修（通信 令和5年2月1日～令和5年7月31日）  
受講者10名

- ・社会福祉士・精神保健福祉士等実習生の受け入れ 3名  
秋田看護福祉大学 精神保健福祉援助実習  
令和4年5月30日（月）～6月10日（金） 10日間 2名
- 秋田看護福祉大学 ソーシャルワーク実習  
令和5年2月16日（木）～3月20日（月） 23日間 1名

8) 住民主体の福祉活動、生活支援サービスの推進・支援

◎団体活動の育成・支援（共同募金委員会との連携）

- ・老人クラブ連合会
- ・身体障がい者協会
- ・手をつなぐ育成会
- ・遺族会
- ・ボランティア団体連絡協議会

◎各団体等の合同研修・情報交流事業

9) 当事者組織の育成・支援

◎むつみ会交流会事業（一人暮らし高齢者交流会） 登録者数95名

一人で暮らす高齢の方は、生活上で様々な不便も抱えています。

会員同士の交流と情報交換の場として実施しました。

- ① 令和4年 9月30日（金）まち自慢クラブ 参加者12名  
「楽しく体を動かそう！～椅子に座ってストレッチ～」
- ② 令和4年10月26日（水）まち自慢クラブ 参加者 7名  
「夕暮れが早い今聞きたい!!交通安全のお話」講師 藤里駐在所 金翔太氏
- ③ 令和4年11月29日（火）北秋田市 参加者 9名  
「大太鼓の館」・物産館・産直・ふたついで道の駅
- ④ 令和5年 1月13日（金）まち自慢クラブ  
「松岡さんの木工教室 ～森のくまさん～」 参加者 7名

※令和4年12月23日（金）まち自慢クラブ  
「松岡さんの木工教室 ～森のくまさん～」 参加希望者10名  
は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止。

◎在宅介護者の集い事業 合同研修会として開催

◎知的障がい者家族交流事業 新型コロナウイルス感染症拡大のため中止しました。

◎をとこ組事業

藤里町の全世代の男性を対象に、多彩なメニューで実施しました。

- ① 令和4年 9月22日(木) 能代市二ツ井町 参加者 3名  
内 容 カヌー体験
  - ② 令和4年10月19日(水) 森吉山阿仁スキー場 参加者 3名  
内 容 ゴンドラで空中散歩
  - ③ 令和4年11月15日(火) 北秋田市 伊勢堂岱遺跡 参加者 2名  
内 容 伊勢堂岱遺跡見学
  - ④ 令和5年 1月19日(木) 大館市 御成座 参加者 3名  
内 容 映画鑑賞
- ※令和4年12月22日(木) 農村環境改善センター 障子張りに挑戦  
は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止。

◎まち自慢クラブ事業

◎子育て世代支援事業

チャイルドシート等の貸出事業

乳幼児の安全と健やかな子育てを支援することを目的として、藤里町社会福祉大会のチャリティーバザーの収益金を活用し、チャイルドシート等の無料貸出事業を行いました。

貸出件数計11件

チャイルドシート	9件
ジュニアシート	0件
ベビーベッド	2件
ベビーバウンサー	0件
ベビーカー (A型 B型)	0件
ベビーバス	0件

◎お買い物ツアー事業

月4回(毎週金曜日) 登録者25名 実施回数48回 延利用人数306名

◎生活管理指導員派遣事業 実利用人数 2名 延利用回数 71回

◎軽度生活援助事業 0件

◎プラチナバンク事業 ⇒就労的活動支援コーディネーターの配置

会員の活躍支援を推進するためのプラチナスタッフ(各作業の主担当)を6名配置して、初めて参加する人などのサポート体制を作り、活躍の場を増やしました。

プラチナバンク事業での活躍 ※前年度実績 ( )

プラチナバンクは「働くかたち」や「働きかた」など、個人の生活スタイルや希望にあわせて登録。自分の力を活かせる、全世代型の地域活性化人材バンクです。

- ・登録会員 393名(401名) 男性143名(149名)・女性250名(252名)
- ・就労状況

請求件数	就労延人数	収入額
470件(481件)	9,132名(8,435名)	33,121,701円(32,412,830円)

・作業内容

町民バス運転	107件	528時間
福祉バス運転	74件	221時間
普通車運転(公用車等)	51件	201時間
移送サービス(介護)	169件	648時間
移送サービス(障害)	48件	162時間
社協デイサービス介護	226件	717時間
社協デイサービス看護	44件	350時間
ヘルパー訪問介護	2,367件	1,988時間
社協厨房調理	851件	3,265時間
社協配食サービス配達	11件	16.5時間
改善センター調理補助	354件	1,841.5時間
改善センター受付・掃除	908件	4,196時間
改善センター宿直	21件	21回
改善センター環境整備	52件	253時間
こみっと業務	191件	1,136時間
こみっと厨房調理等	119件	295時間
こみっと畑作業	3件	4時間
菓子製造	297件	1,491時間
宛名印刷	3件	3時間
美里園介護	21件	151時間
美里園除雪	29件	94.5時間
美里園除草剤散布	3件	3時間
美里園食事支度	19件	53時間
剪定	1件	1.5時間
剪定(総務課)	2件	6時間
剪定(教育委員会)	2件	1.5時間
草刈り	62件	280.5時間

草刈り（総務課）	19 件	36 時間
草刈り（教育委員会）	20 件	107.5 時間
草刈り（浄化センター）	40 件	135.5 時間
草刈り（土地改良区）	4 件	2 日
草刈り（栗の木岱）	5 件	24 時間
草刈り（栗林）	4 件	15 時間
草取り	12 件	39.5 時間
草取り（総務課）	15 件	34 時間
草取り（教育委員会）	19 件	91 時間
草取り（熊の岱豆畑）	6 件	36.5 時間
草運搬	1 件	0.5 時間
薪運搬	3 件	5 時間
芝刈り	2 件	3 時間
軽作業（冬囲い他）	11 件	24.5 時間
除雪	120 件	182.5 時間
総合福祉センター館内清掃	354 件	354 回
総合福祉センター除雪	23 件	65 時間
こみっと除雪	1 件	1 時間
くまげら宿直	365 件	365 回
くまげら日直	121 件	121 回
開発センター日直（平日）	243 件	243 日
開発センター日直（土日祝）	116 件	116 日
開発センター除雪	40 件	115.5 時間
開発センター軽作業	8 件	17 時間
中学校巡視	365 件	730 時間
根っこ堀り	41 件	193 時間
根っこ作業	82 件	403.5 時間
栗拾い・菜採り	93 件	401.5 時間
山菜・大豆・小豆・粉処理	156 件	766.5 時間
ワラビ植替え	8 件	45 時間
畑作業	7 件	26 時間
畑作業（矢坂フキ）	2 件	2 時間
畑作業（矢坂豆）	47 件	206.5 時間
畑作業（熊の岱豆）	2 件	6 時間
畑耕起	4 件	4 時間
特養藤里	166 件	1,012 時間
アルビオン	48 件	240 時間
役場宿直	349 件	349 回
役場日直	116 件	116 回
役場宿日直	6 件	6 回
屋内清掃等	35 件	56 時間

屋内清掃等（総務課）	2 件	4 時間
屋外清掃等	2 件	6 時間
窓ガラス拭き（教育委員会）	2 件	7 時間
通院等介助	4 件	8 時間
障子張り	2 件	5 時間
障子張り（教育委員会）	1 件	1 時間
包丁研ぎ	5 件	10 時間

- ・プラチナバンク事業：こみっと活動分
- ・就労状況

請求件数	就労延人数	収入額
107 件（117 件）	1,480 名（1,414 名）	5,538,482 円（5,237,165 円）

- ・作業内容

社協事務所 事務補助	211 件	1,486 時間
ぶなっち 掃除	215 件	575.5 時間
社協グリストラップ	21 件	21 時間
改善センター掃除	223 件	624.5 時間
キッシュ製造	41 件	100 時間
特養藤里 介護補助業務	158 件	888 時間
特養藤里 洗濯清掃業務	330 件	2,145 時間
日赤事務補助	6 件	25 時間
はがき宛名印刷	1 件	97 枚
資料作り	3 件	100 部
改善センター 根っこ・山菜	9 件	37 時間
墓掃除	1 件	1 時間
屋内清掃	3 件	4 時間
デイサービス（見守り）	259 件	2,052 時間

## 1 0) ボランティアセンターの運営

### 1 1) 福祉教育・ボランティア学習の推進⇒地域を支える人づくり

◎おもてなし部隊の設置

◎精神保健福祉ボランティアの活躍支援

こころの健康や福祉、精神障害についての理解を深め、みんなが暮らしやすい地域づくりのために、何ができるかを考えることを目的にステップアップ研修を行いました。

（事業対象者：平成 21、22、23、26 年度精神保健福祉ボランティア養成講座修了者 57 名 福祉諸団体会員 こみっと利用者等）

ステップアップ研修（介護者リフレッシュ事業とボランティア団体と合同研修）

- ① 令和4年10月12日（水） 参加者 8名（内精福ボラ1名 社協2名）
- ② 令和4年10月14日（金） 参加者20名（内精福ボラ4名 社協2名）
- ③ 令和4年10月18日（火） 参加者18名（内精福ボラ3名 社協2名）

場 所 男鹿市、大潟村

内 容 なまはげ館・男鹿真山伝承館、オガーレ、生態系公園温室  
地域文化の情報発信について視察、見学、交流研修

ステップアップ研修 令和 4年10月 8日（土） こみっと感謝祭  
新型コロナウイルス感染症拡大のため中止。

### ◎ボランティア活動の活性化

ボランティア団体連絡協議会の活動支援

ボランティア団体相互の連絡調整並びに情報交換を図り活動を効果的に進めました。

登 録 9団体＝97名

主な活動 湯の沢農村環境改善センター等でのボランティア活動

※コロナ禍にて感染状況を見ながら、7月 特養にて衣類のほつれ縫い等、

11、12月 社協デイサービスお誕生会（1～2名）のボランティア活動  
研修（介護者リフレッシュ事業・精神保健福祉ボランティア事業と合同研修）

- ① 令和4年10月12日（水）参加者 6名（内ボラ連 2名 社協2名）
- ② 令和4年10月14日（金）参加者18名（内ボラ連 6名 社協2名）
- ③ 令和4年10月18日（火）参加者16名（内ボラ連10名 社協2名）

場 所 男鹿市、大潟村

内 容 なまはげ館・男鹿真山伝承館、オガーレ、生態系公園温室  
地域文化の情報発信について視察、見学、交流研修

12) 災害ボランティアセンターの運営等

13) 地域福祉財源の造成、助成事業の実施



14) 共同募金委員会と連携した共同募金・歳末たすけあい運動の実施等  
 令和3年度募金総額 1,140,905円(目標1,204,000円)  
 上記内 令和4年度助成金額 650,231円

◎共同募金助成金を活用して下記の福祉事業を実施しました。

- 安心・活躍支援事業(地域交流事業・広報活動事業)、共同募金運動推進事業
- 藤里町社会福祉大会 むつみ会
- 社協だより発行 ホームページの充実等
- 子育て世代の活躍支援事業(チャイルドシート等貸出事業)
- (こみっと感謝祭新型コロナウイルス感染症拡大のため中止)

◎歳末たすけあい運動の実施

募金総額 426,888円(戸別募金 1,020戸)

配分内訳

要介護者	26人	
上記介護者	26人	
在宅障害者(児)等	9人	
町内福祉施設(特養藤里・虹のいえ)	2施設	
虹のいえグループホーム	3カ所	
グループホーム美里園	2カ所	
出生祝い(タオルセット)	7件	
	75件	352,900円
運動諸経費(のし袋等)		73,988円
		426,888円

【 相談支援・権利擁護部門 】

○相談支援・権利擁護部門は、地域住民のあらゆる生活課題を受け止め、地域での生活支援に向けた相談・支援活動、権利擁護事業、情報提供・連絡調整を行いました。

1) 総合相談体制整備事業

◎総合相談体制の構築（早期発見・早期対応システムにより活躍支援に繋げる）

- ・地域の福祉ニーズの早期発見・早期対応 報告・連絡・相談用紙の活用
- ・高齢者虐待・障がい者虐待・児童虐待等の早期発見・早期対応
- ・苦情処理体制の整備
- ・通常相談 9,389件（7,007件）受付 ※前年度実績（ ）

日常業務の中で、相談、要望、苦情、危険等を見逃さず拾い上げることができるように、全職員で統一様式「報告・連絡・相談」の活用を徹底しました。その内容を検証することで、気づきを増やし、業務の改善へつなげる体制を強化しました。

内 容	相談	ヒヤリハット	苦情	認知症	その他	計
介護関係	3,085	1,872	203	1,228	132	6,520
障がい関係	520	95	9	0	8	632
プラチハット	16	73	236	2	9	336
除排雪	2	41	107	11	0	161
その他	1,382	246	47	7	58	1,740
計	5,005 (4,271)	2,327 (1,654)	602 (309)	1,248 (561)	207 (212)	9,389 (7,007)

◎藤里町生活困窮相談業務受託運営

経済的問題や心身の障害、ひきこもり、ニート、失業、家族の介護など複合的な生活上の問題を抱えている人が、地域の一員として参加、活躍しながら課題を解決できるよう、秋田県及び関係機関と連携しながら、一人ひとりの実情に合った包括的な相談・支援を行いました。

- ・相談受付対象者 50名
- ・相談受付件数 429件
- ・こみっと支援事業を一部転換
- ・伴走型支援事業（自立支援相談）
- ・就労訓練事業
- ・家計改善支援事業（金銭等管理支援事業）利用者数17名（内新規6名 終了3名）

◎地域包括支援センター受託運営

- ・地域ケア会議の開催  
担当者会議 24回開催  
移送サービス、生活支援ハウス利用申請等について協議  
(役場・地域包括支援センター・居宅介護支援事業所等)
- ケース検討会 57回開催
- ・ケアマネジメント機能の強化支援
- ・ケアマネジメントリーダー活動支援事業の実施

◎地域活動支援センター受託運営

◎コミュニティソーシャルワーカー（CSW）の配置

◎障がい者虐待防止センターの受託運営

◎相談支援事業所の運営

- ・特定相談支援事業
- ・障がい児相談支援事業
- ・地域移行・地域定着支援事業

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
11件	11件	21件	20件	9件	18件	9件	10件	20件	10件	10件	21件	170件

◎自立生活援助事業所の運営（障害者総合支援事業）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2件	2件	2件	2件	2件	2件	2件	2件	2件	2件	2件	2件	24件

◎居宅介護支援（ケアマネ）事業所の運営

- ・居宅介護支援事業
- ・介護認定調査の受託 192件（175件）
- ・介護予防支援業務の受託

利用月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
要支援・総合事業	40件	39件	40件	38件	41件	37件
要介護	115件	114件	113件	110件	110件	111件

10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
38件	38件	39件	44件	43件	46件	483件
108件	105件	107件	109件	111件	112件	1,325件

2) 日常生活自立支援事業の受託

利用者数9名（内新規3名 終了2名） 相談援助 238件

3) 権利擁護支援に関する事業

◎藤里町権利擁護支援業務受託

認知症や知的障害、精神障害などにより判断能力が十分でない方などの権利の代弁、弁護を行いました。町民の方が安心して生活できるように、相談業務や成年後見制度の利用促進業務等を行いました。

- ・成年後見申立て等支援
- ・専門相談所の開設
- ・弁護士への法律相談対応の業務委託
- ・法人後見事業の実施に向けた体制整備

4) 生活福祉資金貸付事業 0件 0円

5) たすけあい資金貸付事業 3件 300,000円

6) 安心・安全体制づくり（重層的支援体制整備事業）

☆生活支援コーディネーター・就労的活動支援コーディネーターを配置し、地域包括支援センター機能・地域活動支援センター機能・トータルケア推進事業（CSW）機能・生活支援体制整備事業機能を活かし、一体的に運営することで、地域共生社会の実現を目指しました。

◎安心安全の支援事業（24時間つながるサービス）

24時間オペレーターを配置し、緊急時も含め必要に応じた随時対応サービスを実施しました。

一人暮らし高齢者	対象者	315名	登録者	145名
高齢者世帯	対象世帯	194世帯	登録世帯	86世帯
その他世帯			登録世帯	3世帯
相談通報等件数		682件（内夜間対応4件）		

◎高齢者等除排雪事業

50世帯 419件（玄関前 385件、屋根 34件）

◎トータルケア推進事業（ネットワーク活動事業）の充実

藤里町民が安心と活躍のある暮らしを続けることができるように、各関係機関や近隣住民と協力しながら、まちづくりを進めていく事業です。民生児童委員・福祉員・行政・各関係機関・地域の方々と協働で活動しました。

・トータルケア推進連絡協議会代表者会議の開催

開催日 令和5年1月20日（金） 13:00～13:30

場 所 藤里町総合開発センター 研修室

出席者 14名

山本福祉事務所 藤里町民生児童委員協議会

能代警察署藤里駐在所 ニツ井消防署藤里分署 藤琴郵便局

特別養護老人ホーム「藤里」 障害者支援施設「虹のいえ」

藤里町役場町民課 藤里町地域包括支援センター 社協

協議事項 トータルケア推進連絡協議会の今後の在り方について  
各機関との情報交換

・トータルケア推進連絡協議会の開催

開催日 令和5年1月20日（金） 13:30～15:00

場 所 藤里町総合開発センター 大ホール

参加者 27名

山本福祉事務所 藤里町民生児童委員協議会 能代警察署藤里駐在所

藤琴郵便局 特別養護老人ホーム「藤里」

障害者支援施設「虹のいえ」 藤里町役場町民課

藤里町地域包括支援センター 社協

内 容 藤里町のトータルケア（ネットワーク活動）の充実について  
各関係機関の活動状況等について  
藤里町の権利擁護支援の体制について  
藤里町認知症施策について

・民生児童委員協議会との連携

毎月1回の定例会への参加（事務局長・地域福祉担当・地域包括支援センター等）

【 介護・生活支援サービス部門 】

○介護・生活支援サービス部門は、介護保険サービスや障がい福祉サービス、行政からの委託補助で行うその他サービスを提供しました。

その人らしい生き方・生活を尊重するため、必ずしも制度の枠にとらわれることなく、必要に応じて柔軟にサービスを提供する地域福祉型福祉サービスを目指して実施しました。

1) グループホーム美里園の運営

・定員：18名（9名×2ユニット）（延利用人数 6,393人 平均稼働率 97.3%）

利用月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用人数	531	558	531	558	558	540	548	532	521	513	468	535
稼働率	98%	100%	98%	100%	100%	100%	98%	98%	93%	91%	92%	95%

2) デイサービス事業所の受託運営

利用者一人一人のさまざまなニーズに応えられるサービスの展開に努め、年末年始を除く毎日型として提供しました。

開設日時 年末年始を除く毎日（9:30～16:25）

場 所 藤里町総合福祉センター

定 員 25名/日

通所介護事業所<介護保険対象デイサービス>

(延べ利用人数)

事業対象者	15名	
要支援1	132名	
要支援2	530名	
要介護Ⅰ	1,713名	
要介護Ⅱ	1,962名	
要介護Ⅲ	1,455名	
要介護Ⅳ	466名	
要介護Ⅴ	228名	計 6,501名

3) ヘルパー事業所の運営

専門職としての技術の向上に努め、各関係機関と連携しながら利用者の立場に立ったきめ細やかなサービスの提供に努めました。

・訪問介護事業

訪問介護員 常勤3名（介護福祉士3名）

パートヘルパー4名（ヘルパー1級1名・ヘルパー2級2名・介護福祉士1名）

<介護保険該当延利用者数>

<延利用回数>

事業対象者 34名 136回

要支援1	80名	321回
要支援2	71名	477回
要介護Ⅰ	216名	1,544回
要介護Ⅱ	66名	764回
要介護Ⅲ	49名	373回
要介護Ⅳ	9名	19回
要介護Ⅴ	1名	1回
計	526名	3,635回

・定期巡回随時対応型訪問介護看護事業利用者数 実利用人数8名 延利用数74回

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
5名	6名	6名	6名	6名	6名	6名	6名	6名	6名	7名	8名

要介護Ⅰ 5名 54回

要介護Ⅱ 3名 20回

・障害者総合支援居宅介護事業利用者数 延利用回数

区分3 4名

区分1 1名 743回

4) 生活支援ハウス「ぶなっち」の受託運営 (延利用人数 108名)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
9名	9名	9名	9名	9名	8名	8名	8名	9名	9名	11名	10名

5) 福祉の拠点「こみっと」及び「くまげら館」の運営

◎障がい者総合支援事業

・就労継続支援B型事業 (延利用人数 1,980名)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
170名	169名	188名	187名	152名	166名	151名	156名	154名	159名	148名	180名

・自立訓練(生活訓練)事業 (延利用人数 90名)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
8名	8名	5名	7名	7名	8名	8名	9名	8名	7名	7名	8名

・自立訓練(宿泊型)事業 (延利用人数 389名)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
30名	31名	31名	54名	31名	30名	31名	30名	31名	31名	28名	31名

・創作・生産活動事業 (延利用人数 617名)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
57名	54名	61名	58名	55名	62名	57名	58名	40名	35名	37名	43名

◎就労支援事業

- ・福祉の拠点こみっとの運営（延利用人数 5,036名）

お食事処こみっと	3,282名	事務所	30名
大会議室	779名	印刷機使用	23名
小会議室	853名	相談	10名
サークル室	59名		

- ・お食事処こみっとの運営（来客延人数3,282名 売上額計1,131,567円）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
来客数	265名	261名	306名	346名	238名	277名
売上額	66,860円	70,570円	108,290円	121,160円	93,050円	113,500円

10月	11月	12月	1月	2月	3月
408名	275名	263名	183名	202名	258名
179,590円	105,170円	99,057円	42,790円	52,250円	79,280円

6) 移送サービス事業の受託運営（計170件）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
15件	8件	12件	12件	16件	12件	15件	15件	15件	17件	15件	18件

移送サービス事業（障害及び透析：透析はなし）の受託運営（計48件）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2件	6件	3件	5件	6件	4件	4件	5件	5件	3件	3件	2件

7) 介護予防・日常生活支援総合事業受託運営

◎訪問型サービス

- ・訪問介護相当サービス

◎通所介護サービス

- ・通所介護相当サービス（社協）
- ・通所型サービスA（湯の沢）

◎その他の生活支援サービス

- ・栄養改善を目的とした安否確認付き配食サービス

週5回（月曜～金曜）

利用人数 82名（一般71名 総合事業 11名）

延食数 10,261食（一般9,015食 総合事業1,246食）

- ・定期的な安否確認及び緊急時の対応

実利用人数 5名

延利用回数 225回



◎介護予防マネジメント（委託先事業所：居宅介護支援事業所 2件）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
38件	39件	40件	40件	39件	37件	38件	37件	39件	42件	43件	46件	478件

◎一般介護予防事業

- ・介護予防把握事業
- ・介護予防普及啓発事業（まち自慢クラブ事業）
- ・地域介護予防活動支援事業
- ・一般介護予防事業評価事業

◎NHK 厚生文化事業団 第6回認知症とともに生きるまち大賞を受賞しました。

受賞事業：町民すべてが生涯現役をめざす「プラチナバンク事業」

【受賞理由】

「安心の地域社会」の極めて具体的な取り組み。藤里町では誰もが生涯現役を目指す「プラチナバンク事業」というユニークな事業が定着している。これはこれまでの福祉の常識を覆した。高齢者や障害者を「支援を受ける人」として見るのではなく地域の活力とし、福祉事業所内の自立ではなく、地域での自立へとする「まちづくり」の創生である。藤里町は高齢化率 48.8%、当然認知症のある人も多いが、認知症に特化しないことが、地域住民全員がごく自然な形で参加する本来の「認知症とともに生きるまちづくり」を生み出している。

令和4年度補助金等による事業の実施

◎秋田県 介護職員処遇改善支援補助金

新型コロナウイルス感染症への対応と少子高齢化への対応が重なる最前線に置いて働く介護職員の処遇改善のため、賃上げ効果が継続される取り組みを行いました。

◎藤里町介護保険施設・障害者支援施設等物価高騰対策事業補助金

原油価格が高騰する中、介護保険施設等が安定的な介護サービスを提供できるよう光熱費のかかりまし経費の一部に使用しました。

◎令和4年度 活躍支援の拠点づくりプロジェクトの活性化

活躍支援事業（プラチナバンク事業、ひきこもり支援等）や安心・安全支援体制づくりについて、視察の受け入れや藤里体験プログラム、講演などを通して町の魅力を全国へ発信し、丁寧にコーディネートを行いました。令和4年度はweb会議システム ZOOM も活用して、コロナ禍で行動制限のある中でも全国の福祉関係者等と繋がり、情報の収集と発信を行いました。

視察受け入れ

No.	日時	受け入れ団体	地名	オンライン	参加者数
1	7月1日	北秋田市合川地区民生委員(高齢部会)	北秋田市		10名
2	7月8日	藤里町議会総務委員会	藤里町		7名
3	7月15日	湯沢町議会総務文教常任委員会	新潟県		13名
4	7月20日	駒ヶ根市議会教育民生建設委員会	長野県		7名
5	7月28日	大木町、大木町社会福祉協議会、シルバー人材センター	福岡県		6名
6	10月14日	岸和田市社会福祉協議会	大阪府		2名
7	10月18日	滝沢南部地区民生児童委員協議会	岩手県		21名
8	10月26日	遠野市民生児童委員協議会	岩手県		16名
9	2月8日	錦江町役場	鹿児島県		6名
10	2月9日	遠野市議会教育民生常任委員会	岩手県		6名
11	中止	山鹿市議会	熊本県		-
12	中止	帯広市議会(公明党会派)	北海道		-
13	中止	村上地区民生児童委員連絡協議会	新潟県		-
14	中止	上野村役場保健福祉課・上野村社会福祉協議会	群馬県		-
15	中止	八幡平地区民生児童委員協議会	鹿角市		-
16	中止	294 たがやし NET(小規模法人連携)	栃木県		-
				計	94名

講演等

No.	日時	受け入れ団体	地名	オンライン	参加者数
1	6月21日	孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム 第1回シンポジウム	全国	○	420名
2	6月25日	NPO 法人ワーカーズコープフォーラム	秋田市		30名
3	10月7日	秋田県少年保護育成委員連絡協議会地域カンファレンス	秋田市		132名
4	10月15日	八郎潟町社会福祉協議会 役職員研修会講演	八郎潟町		50名
5	10月21日	支え合いをひろげる住民主体の生活支援フォーラム		○	221名
6	11月6日	夜間中学ドキュメンタリー こんばんはⅡと講演のつどい	岩手県		72名
7	11月16日	ひきこもりを地域で考える(特定非営利活動法人から・ころセンター)	山形県		70名
8	11月26日	2022 自治講座「若者支援の現状と課題」	北海道		100名
9	12月9日	令和4年度生活困窮者自立支援制度におけるブロック別研修 北海道・東北ブロック研修	秋田市	○	156名
10	1月17日	孤立を防ぐ「地域づくり」人材養成研修 CLC	全国	○	300名
11	2月3日	十勝地区社協役職員等研修	北海道		90名
12	2月11日	能代山本地域「誰もが健康で暮らせる地域づくり」シンポジウム	能代市		200名
13	2月12日	ひきこもり支援講演会(猪名川町社会福祉協議会)	兵庫県		70名
14	2月16日	令和4年度酒田市生活支援体制整備協議会	山形県	○	28名
15	2月19日	「ソーシャルワークコラボセミナー2022in 青森」	青森県	60名	150名
16	2月21日	由利本荘市社会福祉協議会役職員研修会	由利本荘市		25名
			計	60名	2,114名

藤里体験プログラム受け入れ

No.	日時	受け入れ団体	地名	オンライン	参加者数
1	8月2日-6日 5日間	秋田国際教養大学1年生	秋田市		1名
2	11月14日-18日 5日間	大館市 一般の方	大館市		1名
				計	2名

取材受入れ

No.	日時	受け入れ団体	地名	オンライン	参加者数
1	6月9日	秋田看護福祉大学 教員			1名
2	6月27日	マイナビ農業 フリー記者			1名
3	6月29日	潮出版社			2名
4	7月13日	JP 総合研究所			2名
5	7月27日	大正大学 社会福祉学科		○	2名
6	8月22日	日本社会事業大学		○	1名
7	8月24日	日本社会事業大学		○	1名
8	10月5日	CLC コミュニティーライフサポートセンター			2名
9	10月12日	NHK 厚生文化事業団(取材)			1件
10	10月25日	浜銀総合研究所		○	3名
11	11月21日	秋田市 一般の方			1名
12	12月17日	NHK 厚生文化事業団(表彰式)		○	1件
13	12月22日	秋田大学 教育文化学部 地域文化学科		○	1名
14	3月7日	読売新聞			1名
15	3月15日	東大阪大学短期大学部			1名
				計	21名